

1. カリキュラム

現代教養専攻教育課程表

区分		学年	1 年	2 年	3 年	4 年	単位数	学位
専	門	必修 (12単位)		ゼミナールⅠ 2 ゼミナールⅡ 2	ゼミナールⅢ 2 ゼミナールⅣ 2	ゼミナールⅤ 2 ゼミナールⅥ 2	合計124単位 以上修得	学士(文化学)
		選 択 目		哲学概論 2 倫理学概論 2 論理学概論 2 歴史学概論 2 法学概論 2 経済学概論 2 数学概論 2 生物学概論 2 生態学概論 2 環境科学概論 2 現代思想 2 社会思想史 2 社会心理学 2 ゲーム理論 2 文学と現代社会 4 スポーツと現代社会 2 スポーツ競技実習Ⅰ 1 スポーツ競技実習Ⅱ 1 スポーツ指導論基礎 2 スポーツ指導実践基礎 1 社会人基礎実習A-Ⅰ 1 社会人基礎実習A-Ⅱ 1 社会人基礎実習B-Ⅰ 1 社会人基礎実習B-Ⅱ 1	国際ネゴシエーション 4 倫理想と社会 2 思想然と社 2 歴史と社 2 法と社 2 政治と社 2 経済と社 2 科学と社 2 生態学と社 2 北海道地域文化論 4 アイヌの歴史 4 公共哲 2 国際関係論 2 人間関係の心理学 2 世界の文学 2 トレーニング・評価 4 コーチング 2 スポーツとメディア 2 スポーツ指導論 2 スポーツ指導実践Ⅲ 1 スポーツ競技実習Ⅳ 1 社会人基礎実習A-Ⅲ 1 社会人基礎実習A-Ⅳ 1 社会人基礎実習B-Ⅲ 1 社会人基礎実習B-Ⅳ 1			
専	門	目		文化人類学 4 表象文化論 4 芸術文化論 2 日本文化論 2 アイヌ文化論 4 スポーツ文化論 4 日本武芸文化論 4 スポーツ史 4 スポーツマネジメント 2 運動生理学 2				(基礎教育科目目録1-38単位以上(入門演習2単位、基礎演習2単位、基礎演習40単位以上及び自専攻ゼミナール科目12単位を含む)) (専門科目目録1-62単位以上(入門演習2単位、基礎演習2単位、基礎演習40単位以上及び自専攻ゼミナール科目12単位を含む))

2. 現代教養専攻 ナンバリング

教育目標	文武両道を実現する気力に満ち溢れ、心身ともに強靱にして、幅広い教養と確かな倫理観を備えたゼネラリスト（多様な知識と能力を備え、全体的な展望のもとに総合的な判断を下せる人間）の養成を目指します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP 1	4分野（人文、社会、自然、学際科学）の科目を偏りなく学び、それぞれの分野の基礎知識を修得するとともに、それら基礎知識の総合的活用能力を身に付ける。
	〈関心・意欲〉 DP 2	身辺はもちろん、社会全般に生起する諸問題に関心を向け、問題の核心を究明し、解決しようとする探求心を身に付ける。
	〈技能・表現〉 DP 3	「概念知」と「体験知」を融合させ、状況に応じて迅速かつ確かな判断をくだすとともに、その判断に基づいた具体的な実施案を提供できる能力を身に付ける。
	〈態度・志向〉 DP 4	対処すべきことに主体的に関わるとともに、他者の意見にも素直に耳を傾け、周囲と協調し、約束事にしたがって行動できる能力を身に付ける。

専門科目の分類	1：ゼミナール科目	2：演習系科目	3：人文科学科目	4：社会科学科目
	5：自然科学科目	6：学際系科目	7：実習系科目	

科目名称	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
スポーツ競技実習Ⅰ	○		◎		1	7	2	La172-01
スポーツ競技実習Ⅱ	○		◎		1	7	2	La172-02
社会人基礎実習A-Ⅰ	○		◎		1	7	2	La172-03
社会人基礎実習A-Ⅱ	○		◎		1	7	2	La172-04
社会人基礎実習B-Ⅰ	○		◎		1	7	2	La172-05
社会人基礎実習B-Ⅱ	○		◎		1	7	2	La172-06
スポーツ競技実習Ⅲ	○		◎		1	7	2	La172-07
スポーツ競技実習Ⅳ	○		◎		1	7	2	La172-08
スポーツ指導論基礎			◎	○	2	2	2	La222-01
哲学概論			◎	○	2	3	2	La232-01
倫理学概論			◎	○	2	3	2	La232-02
論理学概論			◎	○	2	3	2	La232-03
歴史学概論			◎	○	2	3	2	La232-04
現代思想			◎	○	2	3	2	La232-05
文学と現代社会		◎	○		2	3	2	La232-06
法学概論			◎	○	2	4	2	La242-01
経済学概論			◎	○	2	4	2	La242-02
社会思想史			◎	○	2	4	2	La242-03
社会心理学		◎		○	2	4	2	La242-04
ゲーム理論	◎	○			2	4	2	La242-05
数学概論	◎			○	2	5	2	La252-01
生物学概論	◎			○	2	5	2	La252-02
生態学概論	◎			○	2	5	2	La252-03
環境科学概論	◎			○	2	5	2	La252-04
スポーツと現代社会	○			◎	2	6	2	La262-01
文化人類学	◎			○	2	6	2	La262-02
表象文化論	◎			○	2	6	2	La262-03

科目名称	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
芸術文化論	◎			○	2	6	2	La262-04
日本文化論	◎			○	2	6	2	La262-05
アイヌ文化論	◎			○	2	6	2	La262-06
スポーツ文化論	◎			○	2	6	2	La262-07
日本武芸文化論	○			◎	2	6	2	La262-08
スポーツ史	◎			○	2	6	2	La262-09
スポーツマネジメント		○		◎	2	6	2	La262-10
運動生理学	◎			○	2	6	2	La262-11
スポーツ指導実践基礎	○		◎		2	7	2	La272-01
社会人基礎実習A-Ⅲ	○		◎		2	7	2	La272-02
社会人基礎実習A-Ⅳ	○		◎		2	7	2	La272-03
社会人基礎実習B-Ⅲ	○		◎		2	7	2	La272-04
社会人基礎実習B-Ⅳ	○		◎		2	7	2	La272-05
スポーツ指導論			◎	○	3	2	2	La322-01
倫理と社会		◎		○	3	3	2	La332-01
思想と社会		◎		○	3	3	2	La332-02
歴史と社会		◎		○	3	3	2	La332-03
アイヌの歴史	◎			○	3	3	2	La332-04
公共哲学	◎			○	3	3	2	La332-05
人間関係の心理学		◎		○	3	3	2	La332-06
世界の文学	◎		○		3	3	2	La332-07
法と社会		◎		○	3	4	2	La342-01
政治と社会		◎		○	3	4	2	La342-02
経済と社会		◎		○	3	4	2	La342-03
自然と社会		◎		○	3	5	2	La352-01
科学と社会		◎		○	3	5	2	La352-02
生態学と社会		◎		○	3	5	2	La352-03
国際ネゴシエーション		◎		○	3	6	2	La362-01
北海道地域文化論	◎			○	3	6	2	La362-02
国際関係論		◎	○		3	6	2	La362-03
トレーニング・評価	◎	○			3	6	2	La362-04
コーチング		◎	○		3	6	2	La362-05
スポーツとメディア	◎			○	3	6	2	La362-06
スポーツ指導実践	○		◎		3	7	2	La372-01
ゼミナールⅠ		◎			2	1	1	La211-01
ゼミナールⅡ		◎			2	1	1	La211-02
ゼミナールⅢ		◎			3	1	1	La311-01
ゼミナールⅣ		◎			3	1	1	La311-02
ゼミナールⅤ		◎			4	1	1	La411-01
ゼミナールⅥ		◎			4	1	1	La411-02

3. 専攻教育の特長

- ★1年次では「基盤教育科目」だけを学び、2年次から「専門科目」を学びます。入学後の1年間は、多様な知の総体を概観し、2年次以降の学修のための基盤を整備するとともに、自分の進むべき方向性を見定めてほしいからです。「現代教養」以上にマッチする専攻が見つかった場合は、2年次から専攻を変えることもできます。
- ★1年次には必修科目（「入門演習」、「基礎演習」、「外国語Ⅰ・Ⅱ」）以外に、「地域共創学群」の目指す人材像を踏まえ、グローバル化社会に相応しい社会人を育成するため、「日本国憲法」、「情報リテラシー」、「体育実技」、「健康論」、「学生生活と社会生活」、「キャリアアップⅠ」、「地域創生入門」、「札幌学入門」の学修、それに「現代教養基礎科目」から4分野（人文科学・社会科学・自然科学・学際科学）にバランスのとれた科目の学修を推奨します。
- ★「現代教養専攻科目」の大半は、4分野（人文科学・社会科学・自然科学・学際科学）の基礎知識を網羅した「現代教養基礎科目」の段階的な発展科目として展開されていますので、各分野の知識に偏りがなく、1年次から4年次まで次第に深化させられてゆくような学修を推奨します。
- ★「現代教養専攻科目」の大半は、「現代教養基礎科目」に準じて4分野に分類され、学年別に配当されていますので、「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」、「学際科学」の各分野からそれぞれ4単位以上の修得、3年次以上配当科目から16単位以上の修得を推奨します。
- ★社会人基礎力として必須な国語力、数理力、一般常識力を強化するための8科目（「社会人基礎実習A-Ⅰ・A-Ⅱ・A-Ⅲ・A-Ⅳ」と「社会人基礎実習B-Ⅰ・B-Ⅱ・B-Ⅲ・B-Ⅳ」）も含まれており、2年次、3年次での学修を推奨します。
- ★「現代教養専攻科目」には「スポーツ文化」専攻との共有科目も含まれ、8つの講義科目（「スポーツ史」、「スポーツマネジメント」、「運動生理学」、「スポーツと現代社会」、「トレーニング・評価」、「コーチング」、「スポーツ指導論基礎」、「スポーツ指導論」）、それに6つの実習科目（「スポーツ指導実践基礎」、「スポーツ指導実践」、「スポーツ競技実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」）が展開されています。
- ★「概念知」に加え「体験知」を重視する方針に則り、「基盤教育科目」中の「アクティブ・ラーニング科目」と「専門科目」中の実習系科目の学修を推奨する他、学内外におけるボランティア活動、インターンシップ等の活用も推奨します。
- ★ゼミナールⅥにおいて「卒業論文（レポート含む）」「卒業制作」「卒業試験」のいずれかを課します。

4. 副専攻

「現代教養専攻」を副専攻と認定する場合の条件は以下の通りです。

- (1) 以下に示す表の科目群から合計20単位以上を修得。
- (2) 「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」の科目群から各々4単位以上を修得。
- (3) 科目群Ⅱの中から8単位以上を修得。

	人文科学	社会科学	自然科学	学際科学
科目群Ⅰ	哲学概論（2） 倫理学概論（2） 論理学概論（2） 現代思想（2） 歴史学概論（2） 文学と現代社会（4）	法学概論（2） 社会心理学（2） 経済学概論（2） 社会思想史（2） ゲーム理論（2）	数学概論（2） 生態学概論（2） 生物学概論（2） 環境科学概論（2）	文化人類学（2） スポーツ文化論（4） 日本武芸文化論（4） スポーツ史（4） スポーツと現代社会（2） スポーツマネジメント（2） 運動生理学（2）
科目群Ⅱ	倫理と社会（2） 人間関係の心理学（2） 思想と社会（2） 歴史と社会（2） 公共哲学（2） 世界の文学（2）	法と社会（2） 経済と社会（2） 政治と社会（2）	自然と社会（2） 生態学と社会（2） 科学と社会（2）	国際関係論（2） スポーツとメディア（2） 国際ネゴシエーション（4） コーチング（2）